

2022年8月26日

PGF生命  
 (プルデンシャル ギブラルタ ファイナンシャル)  
 生命保険株式会社

## 2022年度第1四半期業績のお知らせ

PGF生命（プルデンシャル ギブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長 兼 CEO 得丸 博充）の2022年度第1四半期（2022年4月1日～2022年6月30日）の業績について、以下のとおりお知らせいたします。

当期の新契約業績（個人保険及び個人年金保険合計）について、新契約高は1,536億円（前年同期比192.0%増）、新契約年換算保険料は86億円（前年同期比281.6%増）となりました。

また、個人保険及び個人年金保険合計の保有契約高は6兆3,318億円（前年度末比8.2%増）、保有契約年換算保険料は2,769億円（前年度末比7.7%増）となりました。

保険会社の本業の収益を示す基礎利益は、72億円（前年同期比155.5%増）となりました。また、経常利益は88億円（前年同期比208.0%増）、四半期純利益は61億円（前年同期比210.2%増）となりました。

財務の健全性を示す指標の1つであるソルベンシー・マージン比率は、762.0%（前年度末差3.7ポイント増）となりました。

### 2022年度第1四半期業績の主要指標

■ 新契約高	1,536億円	前年同期比	192.0%増
■ 新契約年換算保険料	86億円	前年同期比	281.6%増
■ 保険料等収入	2,739億円	前年同期比	223.9%増
■ 基礎利益	72億円	前年同期比	155.5%増
■ 経常利益	88億円	前年同期比	208.0%増
■ 四半期純利益	61億円	前年同期比	210.2%増
■ 保有契約件数	62万0千件	前年度末比	1.6%増
■ 保有契約高	6兆3,318億円	前年度末比	8.2%増
■ 保有契約年換算保険料	2,769億円	前年度末比	7.7%増
■ 総資産	5,201億円	前年度末比	4.7%増
■ ソルベンシー・マージン比率	762.0%	前年度末差	3.7ポイント増

※ 契約高及び年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計です。

※ 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

※ 基礎利益の見直しに伴い、2022年度第1四半期の開示から、為替に係るヘッジコストを基礎利益に含めております。

添付資料：2022年度第1四半期業績のお知らせ

## 2022年度第1四半期業績のお知らせ

PGF生命（プルデンシャル ギブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長 兼 CEO 得丸 博充）の2022年度第1四半期（2022年4月1日～2022年6月30日）の業績は添付のとおりです。

### <目次>

1.	主要業績	1 頁
2.	資産運用の実績（一般勘定）	3 頁
3.	四半期貸借対照表	5 頁
4.	四半期損益計算書	6 頁
5.	経常利益等の明細（基礎利益）	8 頁
6.	ソルベンシー・マージン比率	9 頁
7.	特別勘定の状況	11 頁
8.	保険会社及びその子会社等の状況	11 頁

以上

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

### ・保有契約高

(単位：千件、百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個人保険	596	5,773,160	607	101.8	6,251,040	108.3
個人年金保険	13	78,547	12	93.5	80,783	102.8
団体保険	—	6,004	—	—	5,932	98.8
団体年金保険	—	2,567	—	—	2,504	97.5

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。  
2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

### ・新契約高

(単位：千件、百万円、%)

区 分	2021年度 第1四半期累計期間				2022年度 第1四半期累計期間						
	件 数	金 額			件 数	金 額					
		新契約	転換 による 純増加			前年 同期比	前年 同期比		新契約	転換 による 純増加	
個人保険	5	50,836	50,836	—	25		483.8	153,678		302.3	153,678
個人年金保険	0	1,793	1,793	—	—	—	—	—	—	—	
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

- (注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。  
2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。  
3. 新契約の団体年金保険の金額は第1回収入保険料です。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末	2022年度	
		第1四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	248,528	268,235	107.9
個 人 年 金 保 険	8,618	8,707	101.0
合 計	257,146	276,942	107.7
うち医療保障・ 生前給付保障等	5,713	6,363	111.4

### ・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度	2022年度	前年同期比
	第1四半期累計期間	第1四半期累計期間	
個 人 保 険	2,074	8,600	414.6
個 人 年 金 保 険	179	—	—
合 計	2,253	8,600	381.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	126	189	149.7

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### (1) 資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	29,678	6.5	26,440	5.5
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	382,091	83.6	391,587	81.2
公 社 債	302,500	66.2	302,642	62.8
株 式	1,357	0.3	1,357	0.3
外 国 証 券	78,233	17.1	87,586	18.2
公 社 債	78,233	17.1	87,586	18.2
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	0	0.0	0	0.0
貸 付 金	2,835	0.6	2,996	0.6
不 動 産	117	0.0	115	0.0
繰 延 税 金 資 産	1,849	0.4	2,525	0.5
そ の 他	40,644	8.9	58,577	12.1
貸 倒 引 当 金	△0	△0.0	△0	△0.0
合 計	457,216	100.0	482,241	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	107,360	23.5	137,400	28.5

## (2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

（単位：百万円）

区 分	2021年度末					2022年度 第1四半期会計期間末				
	帳簿 価額	時価	差損益			帳簿 価額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	4,575	4,754	179	179	—	4,442	4,611	169	169	—
責任準備金対応債券	222,206	244,936	22,729	25,308	△2,579	222,853	237,370	14,516	19,563	△5,046
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	157,824	153,951	△3,872	312	△4,185	171,601	162,933	△8,668	261	△8,929
公 社 債	75,933	75,718	△214	291	△506	75,850	75,346	△503	247	△750
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	81,891	78,233	△3,658	20	△3,678	95,751	87,586	△8,164	14	△8,179
公 社 債	81,891	78,233	△3,658	20	△3,678	95,751	87,586	△8,164	14	△8,179
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	384,606	403,642	19,036	25,800	△6,764	398,897	404,915	6,018	19,994	△13,976
公 社 債	302,715	325,409	22,694	25,780	△3,085	303,145	317,328	14,182	19,980	△5,797
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	81,891	78,233	△3,658	20	△3,678	95,751	87,586	△8,164	14	△8,179
公 社 債	81,891	78,233	△3,658	20	△3,678	95,751	87,586	△8,164	14	△8,179
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 市場価格のない株式等及び組合等は本表から除いています。

・市場価格のない株式等及び組合等の帳簿価額は以下のとおりです。

（単位：百万円）

区 分	2021年度末	2022年度 第1四半期会計期間末
子 会 社 ・ 関 連 会 社 株 式	1,300	1,300
そ の 他 の 有 価 証 券	57	57
国 内 株 式	57	57
外 国 株 式	—	—
そ の 他	0	0
合 計	1,357	1,357

## (3) 金銭の信託の時価情報

2021年度末、2022年度第1四半期会計期間末とも保有していません。

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2021年度末 要約貸借対照表 (2022年3月31日現在)	2022年度 第1四半期会計期間末 (2022年6月30日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		29,995	26,792
有価証券		420,777	429,134
(うち国債)	(	234,524)	( 235,348)
(うち地方債)	(	698)	( 698)
(うち社債)	(	67,277)	( 66,595)
(うち株式)	(	1,357)	( 1,357)
(うち外国証券)	(	115,718)	( 123,929)
貸付金		2,835	2,996
保険約款貸付		2,835	2,996
有形固定資産		754	699
無形固定資産		3,020	2,852
再保険		28,856	48,733
その他の資産		8,903	6,406
繰延税金資産		1,849	2,525
貸倒引当金		△0	△0
資産の部合計		496,992	520,141
(負債の部)			
保険契約準備金		332,902	331,614
支払準備金		2,861	3,910
責任準備金		329,795	327,449
契約者配当準備金		245	254
再保険		28,254	34,100
その他の負債		41,798	45,703
借入金		25,000	25,000
未払法人税等		2,382	2,596
リース債務		19	17
その他の負債		14,396	18,089
退職給付引当金		5,135	5,234
役員退職慰労引当金		218	229
価格変動準備金		3,662	3,785
負債の部合計		411,972	420,668
(純資産の部)			
資本金		11,545	16,545
資本剰余金		8,454	13,454
資本準備金		8,454	13,454
利益剰余金		66,081	72,187
利益準備金		50	50
その他利益剰余金		66,030	72,136
繰越利益剰余金		66,030	72,136
株主資本合計		86,081	102,187
その他有価証券評価差額金		△2,788	△6,241
繰延ヘッジ損益		1,726	3,526
評価・換算差額等合計		△1,061	△2,714
純資産の部合計		85,019	99,473
負債及び純資産の部合計		496,992	520,141

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2021年度 第1四半期累計期間 ( 2021年4月1日から 2021年6月30日まで )	2022年度 第1四半期累計期間 ( 2022年4月1日から 2022年6月30日まで )
		金 額	金 額
経 常 収 益		89,007	288,926
保 険 料 等 収 入		84,579	273,990
(うち保険料)	(	41,289)	( 156,163)
(うち再保険収入)	(	43,289)	( 117,827)
資 産 運 用 収 益		2,884	12,145
(うち利息及び配当金等収入)	(	1,072)	( 1,225)
(うち有価証券売却益)	(	0)	( 0)
(うち為替差益)	(	47)	( 10,744)
(うち特別勘定資産運用益)	(	1,734)	( 153)
そ の 他 経 常 収 益		1,543	2,790
経 常 費 用		86,145	280,110
保 険 金 等 支 払 金		76,992	255,762
(うち保険金)	(	14,633)	( 15,959)
(うち年金)	(	567)	( 747)
(うち給付金)	(	2,965)	( 2,258)
(うち解約返戻金)	(	19,437)	( 80,041)
(うちその他返戻金)	(	378)	( 3,333)
(うち再保険料)	(	39,009)	( 153,422)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		127	1,049
支 払 備 金 繰 入 額		127	1,049
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		358	9,554
(うち支払利息)	(	234)	( 234)
(うち有価証券売却損)	(	0)	( 0)
(うち金融派生商品費用)	(	79)	( 9,242)
事 業 費		7,541	11,733
そ の 他 経 常 費 用		1,125	2,010
経 常 利 益		2,862	8,815
特 別 損 失		31	125
固定資産等処分損		4	2
価格変動準備金繰入額		26	122
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		20	17
税 引 前 四 半 期 純 利 益		2,811	8,672
法 人 税 及 び 住 民 税		752	2,598
法 人 税 等 調 整 額		89	△33
法 人 税 等 合 計		842	2,565
四 半 期 純 利 益		1,968	6,106



## 注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

### 2022年度第1四半期会計期間末

1. 「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、当該適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、当該適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	245百万円
ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	8百万円
ハ. 利息による増加等	0百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	17百万円
ホ. 当第1四半期会計期間末現在高	254百万円

3. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計
当期首残高	11,545	8,454	66,081	86,081
当第1四半期会計期間末までの変動額				
四半期純利益			6,106	6,106
新株の発行(*1)	5,000	5,000		10,000
当第1四半期会計期間末までの変動額合計	5,000	5,000	6,106	16,106
当第1四半期会計期間末残高	16,545	13,454	72,187	102,187

\*1 2022年6月29日付で、ジブラルタ生命保険株式会社より第三者割当増資の払込を受けております。

4. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## 注記事項

(四半期損益計算書関係)

### 2022年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は、55,835円82銭であります。

2. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2021年度 第1四半期累計期間	2022年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	2,839	7,254
キャピタル収益	99	10,866
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	0	0
金融派生商品収益	—	—
為替差益	47	10,744
その他キャピタル収益	51	122
キャピタル費用	79	9,242
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	0	0
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	79	9,242
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	20	1,624
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	2,859	8,878
臨時収益	3	0
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	3	—
個別貸倒引当金戻入額	0	0
その他臨時収益	—	—
臨時費用	—	63
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	—	63
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	3	△63
経常利益 A + B + C	2,862	8,815

### その他基礎収益等の内訳

（単位：百万円）

	2021年度 第1四半期累計期間	2022年度 第1四半期累計期間
その他基礎費用	51	122
為替に係るヘッジコスト	51	122
その他キャピタル収益	51	122
為替に係るヘッジコスト	51	122

（注）基礎利益の見直しに伴い、2022年度第1四半期の開示から、為替に係るヘッジコストに関して、経常利益の内訳を変更しております。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2021年度末	2022年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	149,928	165,840
資本金等	86,081	102,187
価格変動準備金	3,662	3,785
危険準備金	4,094	4,158
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	△1,474	△3,770
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	6,885	6,426
負債性資本調達手段等	25,000	25,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	25,678	28,053
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	39,542	43,527
保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	148	143
第三分野保険の保険リスク相当額 R <sub>8</sub>	32	31
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	24	24
最低保証リスク相当額 R <sub>7</sub>	18	24
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	38,720	42,621
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	778	856
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	758.3%	762.0%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を使用しています。

(参考) 連結ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2021年度末	2022年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	149,675	165,550
資本金等	85,943	102,005
価格変動準備金	3,662	3,785
危険準備金	4,094	4,158
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	△1,474	△3,770
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△114	△108
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	6,885	6,426
負債性資本調達手段等	25,000	25,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	25,678	28,053
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2+R_6+R_3})^2+(R_2+R_3+R_7)^2+R_4+R_6}$ (B)	39,144	43,129
保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	148	143
一般保険リスク相当額 R <sub>5</sub>	—	—
巨大災害リスク相当額 R <sub>6</sub>	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R <sub>8</sub>	32	31
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R <sub>9</sub>	—	—
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	24	24
最低保証リスク相当額 R <sub>7</sub>	18	24
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	38,330	42,231
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	771	849
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	764.7%	767.6%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を使用しています。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2021年度末	2022年度 第1四半期会計期間末
個人変額保険	1,201	1,206
個人変額年金保険	38,577	36,693
団体年金保険	—	—
特別勘定計	39,778	37,899

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険（有期型）	—	—	—	—
変額保険（終身型）	0	2,963	0	3,008
合 計	0	2,963	0	3,008

#### ・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	3	36,245	3	39,307
合 計	3	36,245	3	39,307

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

子会社として保険代理店PGフレンドリー・パートナーズ株式会社を保有しておりますが、子会社の特性並びに規模を考慮し、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表は作成していません。